



「OPEN SITE 2018-2019」企画募集中！



観る人にも、表現する人にもオープンでクリエイティブな場（＝サイト）を目指し、全ての表現に門戸を開いたトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）の企画公募プログラム「OPEN SITE」。過去2回の応募総数は国内外から500を超え、厳正なる審査を経て選ばれた公募企画と、TOKAS 推奨企画を実施してきました。2018年度も、これまでにない表現を希求し、新しい視点を持って創造の場を捉え、社会と向き合う企画を募集します。本年度は新たにOPEN SITE dot 枠を設け、発表形態の選択肢を広げます。各分野の第一線で活躍する方々を審査員に迎え、多角的な視点で企画を選出、実施していきます。

募集概要

【募集企画】

1～3の全てに該当するもの。

- 以下のいずれかの形式に当てはまる企画。
平面、立体、デザイン、メディア・アート等の展示、リサーチプロジェクトの発表、音楽、ダンス、演劇、映画・映像、シンポジウム、ワークショップなど。これらに類する企画やこれらが複合した企画。
- 新しい表現を希求し、創造の場を社会へと開いていくことに意欲的な企画。
- 高い構成力や独自性の認められる企画。

【発表形式】

- 展示系（会期27日間、入場料無料）
- パフォーマンス系（設営撤去含む会場使用可能期間1週間程度、原則として入場料有料）
- OPEN SITE dot（設営撤去含む会場使用可能期間1週間程度、入場料無料）※2018年度新設

【支援内容】

- 会場の無償提供
- 制作支援金（税込）
 - 展示系：40万円、B.パフォーマンス系：20万円、C.OPEN SITE dot：10万円
- 出演料の支払い（入場料収入相当額から源泉所得税を差し引いた額）（※Bのみ）
- 宿泊施設としてTOKASレジデンシーの提供（国内遠方居住者及び海外居住者のみ）（※A・B）
- 広報・宣伝および運営の一部をサポート

【会場】トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

【企画実施期間】

- 2018年11月24日（土）～2018年12月24日（月・祝）
- 2019年1月12日（土）～2019年2月11日（月・祝）

【審査員】（敬称略）

畠中 実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）

久野敦子（公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター）

毛利嘉孝（社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授）

近藤由紀（トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター）

【応募締切】

応募用紙提出 : 2018年4月13日（金）

資料アップロード : 2018年4月20日（金）

【応募パッケージダウンロード先 URL】

<http://www.tokyoartsandspace.jp/application/2018/03/h0301.shtml>

【応募料】 無料

【応募に関するお問い合わせ】

トーキョーアーツアンドスペース本郷 OPEN SITE 事務局

E-mail: opensite2018@tokyoartsandspace.jp URL: <http://www.tokyoartsandspace.jp/>

■ 広報用画像（OPEN SITE 2017-2018 記録写真）



1. 長谷川 新
「不純物と免疫」



2. キム・ウジン
「ブレイブ・ニュー・エクササイズ
記憶された運動」



3. イップ・ユック＝ユー
「PLAY.GROUND:
香港のビデオゲームアートの展望」



4. 黒田大祐
「不在の彫刻史」



5. リ=コンバート・プロジェクト
「reC_TECH」



6. クリスチャン・ディンカー
「ヴァーレンヴィルトシャフト」

< お問い合わせ >

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課 広報担当：市川、荻田

TEL：03-5633-6373 FAX：03-5633-6374 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

※トーキョーアーツアンドスペースは、平成29年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。